

9月定例会・議案など	2
委員会等活動報告	2
9月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員の視察、議員研修会など	8

令和元年7月5日から令和元年10月8日までの出来事を掲載しました。



「弘前市（旧弘前市）」は、明治22(1889)年4月1日に全国初の市制が施行された31都市の一つであり、今年度、130周年を迎えました。この写真に写っているのは明治25(1892)年、元寺町（現市民中央広場）に新築された市庁舎です。（市広聴広報課提供）

## 議 会 ト ピ ッ ク ス

### タブレット端末導入に係る検討結果を答申

弘前市議会では、令和元年6月25日に「タブレット端末導入協議会」を立ち上げ、タブレット端末導入について精力的に検討を進め、来年度の予算要求に向け、限られた時間においてデモンストレーションや理事者との意見交換等、これまでに7回の協議会を開催してきました。

タブレット端末の導入により、会議録や議案、各種通知等をペーパーレス及びデータ化することで、資源の削減及び情報共有の迅速化につながります。また、場所を問わず過去の膨大な資料等の閲覧が可能となることから、議会における議論の活性化に寄与し、市民に詳細な説明をする際に効果を発揮するものです。

さらに、職員においても日常業務及び災害時等の実用的な連絡手段になるほか、資料の更新・差替えを瞬時に行うことが可能になるなど、事務効率化の効果は非常に大きいものと考えられます。

以上のことから、当協議会での検討の結果、タブレット端末を導入すべきとの答申を議長に行いました。今後は全議員でのデモンストレーションを実施する予定となっております。



10月8日、議長に検討結果を答申

（協議会の委員構成）

◎一戸 兼一 ○今泉 昌一 成田 大介 齋藤 豪  
 木村 隆洋 外崎 勝康 石田 久

※敬称略 ◎座長、○副座長。委員は議席番号順に記載。

# 令和元年第2回定例会

【会期：令和元年8月28日(水)～9月26日(木)】

## 市長提出議案 31件

### ○令和元年度弘前市一般会計補正予算（第3号）

幼児教育・保育の無償化に伴う認可外保育施設等の利用給付、森林経営管理法に基づいた森林の経営管理などに要する経費を計上するほか、ふるさと納税寄附金推進事業などに要する経費を追加するものです。また、弘前市プレミアム付商品券事業などに係る繰越明許費の設定、及び小規模治山事業などに係る地方債の補正を行うものです。  
補正額 8億1465万1千円

### 9月補正後の令和元年度予算

一般会計	774億8469万6千円
（9月補正額）	8億1465万1千円
特別会計	413億9765万9千円
（9月補正額）	14億9219万5千円

### ○弘前市印鑑条例の一部を改正する条例案

住民基本台帳法施行令の一部改正等に伴い、印鑑登録証明書の旧氏に関する規定を整備するなど、所要の改正をしようとするものです。

※印鑑登録証明書に旧氏を記載すること等が可能になるほか、性的マイノリティの方への配慮として性別の表記が行われなくなります。

## 平成30年度決算審査

平成30年度弘前市一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計の各決算等について審議しました。

### 一般会計 決算額

歳入額	778億3441万2951円
歳出額	771億7490万2693円
繰越額	6億5951万258円

### 一般会計歳入歳出決算に対する討論

平成30年度弘前市一般会計歳入歳出決算に対する反対・賛成それぞれの立場の要旨を掲載します。

#### ○反対の要旨 以下の理由で反対する。

- ・大規模建設事業、大型開発事業が優先
- ・個人情報業務を民間企業に開放する決算
- ・地域包括ケア検討支援事業を含んだ決算
- ・市長公約、地方自治体の役割から見ても不十分な決算

#### ○賛成の要旨 以下の理由で賛成する。

- ・実質公債費比率と将来負担比率は前年度より改善し、早期健全化基準を下回っている
- ・地方交付税が減など財政状況は厳しい中、計上予算の目的に沿って適切に執行されている

### 国民健康保険特別会計歳入歳出決算に対する討論

平成30年度弘前市国民健康保険特別会計歳入歳出決算に対する反対・賛成それぞれの立場の要旨を掲載します。

#### ○反対の要旨 以下の理由で反対する。

- ・高すぎる保険料の実態が続いている
- ・生活困窮者へ積極的に減免制度を行うべき

#### ○賛成の要旨 以下の理由で賛成する。

- ・保険料率の見直し、収納率向上対策等の取り組み
- ・平成29年度末で累積赤字が解消となった

## 人事案件 1件

○人権擁護委員候補者の推薦について（2名）

おおたかよしあき

大高義昭氏（新任）、

くろいしかつじ

黒石勝治氏（新任）

## 議員発議 1件

### 意見書

○厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

## 委員会等活動報告

### ひろさき市議会だより編集特別委員会

- 7月22日(月) 市役所
- ①掲載内容について
- 9月26日(木) 市役所
- ①掲載内容について
- ②編集日程について
- ③その他

### りんご産業振興特別委員会

- 8月2日(金) 青森県産業技術センターりんご研究所
- ①りんご黒星病に対する有効薬剤の研究について
- 8月28日(水)、9月11日(水) 市役所
- ①今後の活動方針について
- ②その他

9月26日(木) 市役所

- ①要望活動について
- ②その他

### 議員全員協議会

8月21日(水) 市役所

- ①新中核病院の整備に係る進捗状況等について



**一 般 質 問**

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。( )は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

尾崎 寿一  
( 創 和 会 )**アップロード整備事業の進捗状況について****問** 今後のスケジュールについて。**答** 今後の予定は、大和沢川を横断する区間で、当初計画より道路勾配やカーブが緩やかになることから、自然豊かな大和沢地区を一望でき、新たなランドマークとなる新狼の森橋の架けかえや路面改良等を行い、令和5年度には全区間が完成する予定となっている。**部活動を理由とする学区外就学について****問** 今後、具体的に進める考えはあるか。**答** 毎年のように保護者からの要望があり、やりたい部活動に取り組むことは、生徒の希望を叶え、個性を伸ばすことにつながるものと考え、一定条件のもと、学区外就学を来年度から許可する。

〈その他の質問項目〉

○会計年度任用職員制度について

○当市における障がい者雇用について

木村 隆洋  
( 創 和 会 )**急患診療所の整備について****問** 市の方針を問う。**答** 住民の利便性の維持・向上、医療機能の分担の観点から、整備する場所や機能を含め、慎重に検討する。現時点では、整備方針の決定時期は未定だが、方向性が定まり次第、議会をはじめ市民の皆様にお知らせし、基本計画の変更が必要となる場合には、基本協定を締結した4者間でも協議していく。**当市の防災体制について****問** ハザードマップの更新状況を問う。**答** 当市の洪水ハザードマップは、「岩木川」等において、国が約千年に一度の降雨に対する想定最大規模の浸水想定区域図を公表していることから、更新に向けた作業を進めている。県が今年度中に公表を予定している「腰巻川」などの浸水想定区域図と併せて、来年度の台風シーズン前までに作成したい。一戸 兼一  
( 弘 新 会 )**伝統的建造物群保存地区について****問** 損傷が激しくなっている石畳風舗装の補修対応を問う。**答** 石畳風舗装面の劣化については、一部骨材が剥がれ、道路に散在している状況を確認している。補修工法については、他自治体の維持管理方法を調査するほか、舗装技術の専門機関からも意見等を聞き、早い時期に方針を決定したいが、決まるまでは路面清掃の回数を増やしていく。**青葉団地について****問** 不備が多発しているが、原因と今後の対応を問う。**答** 建替事業での連続ミスについては、法令確認や設計に係る検証作業を行う時間がないまま仕事に追われていたこと、また、それをサポートする体制が確保されていないことが要因であり、今後、同様なミスを生じさせないよう、業務体制の構築に努めていく。松橋 武史  
( 滄 洸 会 )**ごみ減量化・資源化対策について****問** これまでの成果と今後の取り組みは。**答** 着実に減量化が図られているが、令和2年度の目標値達成には一人一日あたりの排出量を家庭系ごみで59グラム、事業系ごみで117グラムの減量が必要なことから、様々な分野の団体と協力を推進するための協定の締結や啓発活動等に取り組んでいる。今後も基本計画に掲げる目標達成に向け、市民・事業者と連携し

協働による減量化・資源化を進める。

**健康増進施策について****問** 主な事業や取り組みについて問う。**答** 40代・50代の働き盛り世代の健康に関する意識が低いことから、その世代を対象にがん検診等の受診勧奨や食生活の改善等を行っている。今後も「赤ちゃんから高齢者まで市民みんなが健康でいきいきとした生活が送れるまち」を目指し、市民の健康増進対策を推進していく。石田 久  
( 日 本 共 産 党 )**弘前市身体障害者福祉センターについて****問** 建物の今後について問う。**答** 障がい者団体をはじめとする利用者の意見を伺いながら、大規模修繕、移転、建替え等、他の施設との統合も含め、あらゆる可能性を検討していく。**新中核病院と救急医療について****問** 市の財政負担と急患診療所の後は。**答** 新中核病院は閉院となる市立病院の役割も担い、二次救急医療体制の強化も

含め、市民をはじめ津軽地域の住民が必要とする医療の提供を目的として整備。

財政負担は県から「県計画の中で広域的な病院再編に伴う施設整備について基金を活用して支援する」との回答。引き続き県に要望する。急患診療所の整備は中核病院の敷地内に配置するとしたが、現時点では未定。方向性が定まり次第、議会をはじめ市民の皆様にお知らせしたい。

〈その他の質問項目〉○公共交通



今泉 昌一  
(さくら未来)

**ねぶたまつりの総括について**

**問** 歩道の場所取りをどう考えるのか。  
**答** 場所取りについては、「弘前ねぶた観覧マナー」を呼びかけているものの、危険や見苦しいといった苦情も数多く寄せられており、主催者としてはその対応に苦慮している。今後は、実務者による会議など、まつり関係者において対策を研究し、より良いまつり運営を目指してまいりたいと考えている。

**学校図書館の諸問題について**

**問** 学校図書データベース化の狙いは。  
**答** 図書検索機能により、児童生徒が自ら検索し、探すことができ、調べ学習や読書活動の活性化につながる。蔵書管理機能により、担当職員が図書保管簿の整理作業を簡略化することができる。統計資料作成機能により、正確な蔵書冊数や、分野ごとの図書冊数を確認することが可能となる。



福士 文敏  
(創和会)

**城北交通広場の現状と今後の改修・整備計画について**

**問** 施設の必要性や改修・整備について。  
**答** 交通広場は、開設から約40年経過するが、幼児交通安全教室など子どもたちが交通ルールや交通マナーを学ぶ重要な拠点となっている。施設全体の老朽化が進んでいることから、平成29年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に修繕・改築を行うこととしている。

**消防団員の入団・退団の現状と定年退職制度について**

**問** 当市消防団の課題について。  
**答** 消防団員の充足率は、本年4月1日現在90.96%である。団員の平均年齢についても、41.8歳と年々上昇傾向となっており、高齢化と充足率の維持が重要かつ喫緊の課題である。  
 〈その他の質問項目〉  
 ○生活保護世帯の現状について



千葉 浩規  
(日本共産党)

**りんご放任園等の対策について**

**問** りんご放任園等の問題は深刻。「りんご放任園緊急対策交付金」「放任樹処理対策事業業務委託料」の利用状況、現在のりんご放任園の面積について答えよ。  
**答** 「りんご放任園緊急対策交付金事業」の実施状況は、市農業委員会と連携して放任園所有者に積極的に働きかけ、今年度事業の8月末日までの実施件数が13件、処理面積は約8ヘクタール。「放

任樹処理対策事業」については、今年度事業の8月末日までの実施件数が1件で処理面積は約0.7ヘクタール。市の放任園の確認状況は、市農業委員会からの報告によると8月末日時点で10.3ヘクタールであり、事業の効果が現れている。  
 〈その他の質問項目〉○母子生活支援施設弘前市ひまわり荘について ○市立小学校のプログラミング教育の必修化について ○堀越城跡整備事業について



石岡 千鶴子  
(無所属)

**農業行政について**

**問** 新規就農を支援する「地域コーディネーター」の必要性について。  
**答** 農作業省力化・効率化緊急対策事業を新規就農者等が一層使いやすくした形で来年度も継続することを検討している。  
**ひきこもり支援について**  
**問** 市の対応について伺う。  
**答** 市のホームページに「こころの健康づくり事業」を開設し情報発信している。

また、「ひきこもりに困ったら」というパンフレットを活用しており、これには具体的な対処法やひきこもりから回復された方からのメッセージ、ひきこもりと付き合う家族の対応のヒント、本人や家族が楽になるためのアドバイス等も掲載されている。行政のみならず民間団体の協力を得ながら、ひきこもりの方やその家族の支援を行うとともに、ひきこもりに対する理解が広がるよう努めていく。



佐藤 哲  
(滄洸会)

**陸上自衛隊弘前駐屯地の存在意義と存続**

**問** 市の見解を問う。  
**答** 旧陸軍第8師団の軍都としての繁栄を再現しようと誘致活動を行い昭和43年に設立。市に駐留していることで大規模災害の派遣など市民の安心感につながり、更に地域との交流も深く身近な存在として親しまれ、なくてはならない存在。これまでも自衛官募集事務の活動等取り組んできたが、今後も関係機関と連携し、

自衛隊の活動を支援し、重要なパートナーとしてまちづくりを進めていきたい。  
**岩木地区の観光行政について**  
**問** 観光のてこ入れと発展阻害要因は。  
**答** 岩木地区は地域資源が数多くあるが観光入込客、宿泊者数が年々減少している。温泉地の認知度向上と受入体制の充実に取り組み、魅力を認知してもらえるよう情報発信に努め、誘客につながるよう観光関係者等と取り組んでいきたい。





野村 太郎  
(創和会)

**郷土史教育について**

**問** 郷土史に関する教育の現状は。

**答** 教育委員会では郷土への愛着や誇りをもつ人材を育てるため、郷土史も含む「ひと・もの・こと」に関連する内容を対象としたひろさき卍学に取り組んでおり、各学校で様々な体験型の学びを実現している。今後も各学校がひろさき卍学を題材に、それぞれの学校の特色を生かした取り組みが行えるよう支援していく。



坂本 崇  
(無所属)

**弘前れんが倉庫美術館について**

**問** 美術館を核とした中心市街地のにぎわい創出について。

**答** 当該施設はJR弘前駅と弘前公園の中間に位置し、中心商店街等に隣接していることから、新たな名所として発信し、まちなかにおける交流人口の増加や回遊性向上による賑わいの創出を図り、訪れる人が周辺の商店街や飲食街へ周遊することで賑わいをもたらすものと考えてい



齋藤 豪  
(滄洗会)

**河川の雑木処理について**

**問** 災害を未然に防ぐためには、雑木処理こそが重要かつ急務だと思うが。

**答** 大雨時に支障となる箇所を優先的に行っているが計画的な雑木の伐採は出来ていない状況。そのため、市では雨水貯留施設を含めた全ての河川施設の維持管理計画を今年度から2ヶ年の予定で策定中であり、策定後は雑木処理等を含む維持管理を適正に実施してまいりたい。



石山 敬  
(創和会)

**農業行政について**

**問** 2019年産水田活用状況について。

**答** 平成30年産の作付実績と比較し、主食用米が25ヘクタールの減、備蓄米等の非主食用米が40ヘクタールの増加。大豆が7ヘクタール、小麦が20ヘクタール、野菜が8ヘクタール、果樹及び花きが3ヘクタールそれぞれ減少し、非作付地は9ヘクタールの減少となっている。今年産の傾向は主食用米から備蓄米への転換

**津軽圏域DMOについて**

**問** 概要について問う。

**答** 観光地域づくりの舵取り役として津軽地域14市町村をマネジメントエリアとする津軽圏域DMOの候補法人登録申請を行った。データ収集・分析に基づいた戦略を練り、多様な関係者と連携した企画や周遊の仕組みづくりの検討や実践する観光人材育成等が主な役割。来年4月の法人設立に向け協議・調整を進める。

る。アート展示業務や市民活動・交流促進業務の実施を通して、他施設や既存のイベント・祭りと連携、商店街や各種団体と協力してアートを中心とする取り組みを進め、人が流れる場として吉野町周辺の魅力がますます向上することで中心市街地の活性化にもつなげていく。

〈その他の質問項目〉

○弘前藩忍者「早道之者」ゆかりの地について

**放置自転車について**

**問** 返還実績や手続きについて伺う。

**答** 返還は城西大橋下の放置自転車保管所で平日の午後1時から午後5時まで、土・日曜日は月に2日、同様の時間に対応し、自転車1台につき2,050円支払っていただく。返還実績は平成30年度で撤去台数220台のうち105台。今後も自転車利用マナーの向上や駐輪場並びに自転車等放置禁止区域の周知等に努める。

が大幅に進んだことが特徴となっている。

**教育行政について**

**問** 学校給食における地産地消について。

**答** 平成30年度の学校給食食材への利用率は弘前産が17.3%、弘前産を除く県産が51.3%で合わせると68.6%。県が令和5年度までの目標に掲げる県産食材使用割合68.6%を既に達成。安全・安心な給食の提供、食育の推進のため積極的に地産地消の取り組みを継続していきたい。

**令和元年第2回定例会日程 (30日間) ○傍聴者の数：65人**

8月28日(水) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	9月17日(火)～9月20日(金)	常任委員会	予算決算
	特別委員会			議事整理
8月29日(木)～9月8日(日)	りんご産業振興	9月21日(土)～9月25日(水)	特別委員会	りんご産業振興
9月9日(月)～9月10日(火)	議案熟考	9月26日(木)	本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
	一般質問			
9月11日(水)	一般質問			
	特別委員会			
9月12日(木)	りんご産業振興			
9月13日(金)	一般質問、議案付託			
	厚生、経済文教、建設、総務			

今年はこれまで延べ**254**人が傍聴しています。日程をご確認の上、お気軽にお越しください。









# 会派一般行政視察

## 滄洗会

7月10日(水)～13日(土)

- ①長崎県五島市
  - 椿を活用した地域活性化の取り組みについて
- ②長崎県佐世保市
  - 知的障がい者雇用の取り組みについて
- ③長崎県平戸市
  - ふるさと納税について



五島市役所にて

## 弘新会

7月16日(火)～19日(金)

- ①富山県富山市
  - ガラス美術館の運営について
- ②石川県金沢市
  - 市立美術館の運営について
- ③愛知県岡崎市
  - 男川浄水場について



富山市ガラス美術館にて

## さくら未来・無所属議員(石岡千鶴子、坂本崇、成田大介)

7月25日(木)～27日(土)

- ①福島県喜多方市
  - 小学校農業科について
- ②宮城県柴田町
  - 議会改革について



喜多方市役所にて

## 日本共産党

7月28日(日)～31日(水)

- ①兵庫県宝塚市
  - 学校給食事業(「おいしい!」の笑顔で育むTAKARAっ子)について
- ②兵庫県相生市
  - 子育て支援施策「11の鍵」について
- ③兵庫県姫路市
  - 姫路城を活かした観光施策について



宝塚市議場にて

## 創和会

8月7日(水)～9日(金)

- ①神奈川県藤沢市
  - ワールドカフェ形式による議会報告会について
- ②愛知県安城市
  - 議会ICT化推進事業について
- ③愛知県東海市
  - ホテル誘致事業について



安城市役所にて

## 令和元年度弘前市総合防災訓練実施

9月27日(金)、弘前市運動公園を主会場に防災訓練が行われ、議会から19名が参加しました。



## 青森県市議会議員研修会

10月8日(火)、三沢市で開催され、本市議会から27名が出席。「元号と日本文化」と題して大東文化大学 文学部歴史文化学科 教授 宮瀧交二氏による講演が行われました。



## 委員会行政視察

### 経済文教常任委員会

10月2日(水)～5日(土)

- ①福井県勝山市
  - 観光のまち推進事業について
- ②新潟県糸魚川市
  - ジオパーク推進事業について
- ③長野県須坂市
  - 「須坂フルーツ発泡酒」を核とした果樹振興と賑わい創出事業について

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますのでTEL・ファクス・メールなどお気軽にご連絡ください。

## 表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ (JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和2年1月10日(金)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。【詳しくはホームページ、または議会事務局へお問い合わせを。】

## 弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継 会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報は、こちらをご覧ください。

弘前市議会 インターネット中継

弘前市議会 会議録

検索

